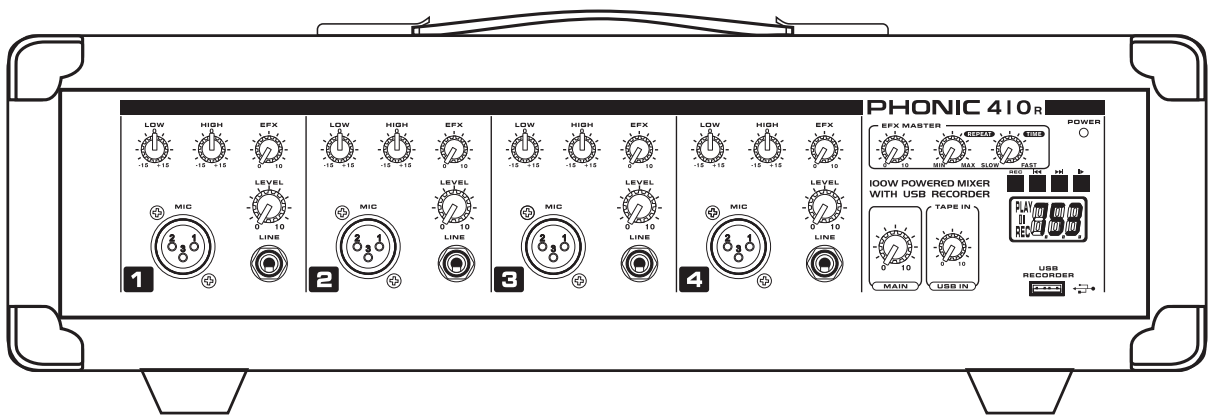


# PHONIC

## POWERPOD 410 R

POWERED MIXERS WITH USB RECORDER + PLAYER



取扱説明書

# Powerpod 410R

## POWERED MIXERS WITH USB RECORDER + PLAYER

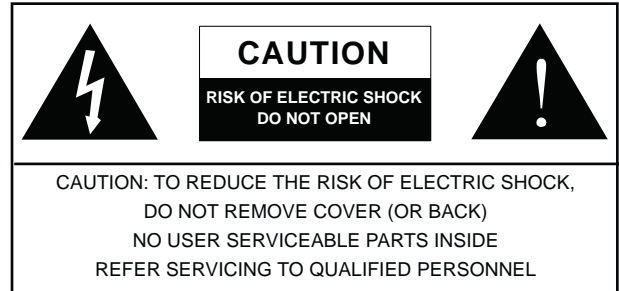
### CONTENTS

基本性能 .....	3
ご使用頂く前の準備 .....	3
コントロールと設定 .....	3
マスターセクション .....	4
USBレコーダー .....	4
リアパネル .....	5
仕様 .....	6
ケーブルタイプ .....	7
接続例 .....	8
寸法 .....	10
ダイヤグラム .....	11
<hr/>	
レコーディング機能	

# 安全上のご注意

当製品を安全かつ正しくお使い頂く為に、「安全上のご注意」及びこの取扱説明書を必ずお読み下さい。  
お読み頂いた後は、保証書と一緒に大切に保存して下さい。

1. この取扱説明書に従ってご利用下さい。
2. 温度の高い場所(直射日光が当たる場所や暖房器具の側など)や、湿度の高い場所(水気の近くや雨中などの濡れる場所)でのご使用・保管はお止め下さい。
3. 当製品を改造・分解しないで下さい。
4. 当製品は精密機器です。強い振動や衝撃を与えると内部に異常をきたす恐れがあります。運搬、ご使用の際の振動や落下に十分ご注意下さい。
5. 長時間で使用されない時は、電源の元となる電源コードをコンセントから抜いておいて下さい。  
(乾電池をご使用頂く製品は乾電池を取り外して下さい)
6. 100V 50/60Hzの定格電圧でのみご使用下さい。
7. 換気を必要とする機器は通気口を塞がない様にお気をつけ下さい。
8. 機器同士をケーブルで繋ぐ際は、全ての機器を繋ぎ終えた上で、電源を入れて下さい。また、電源を入れる前に機器のボリュームが最小値になっていることを確認して下さい。
9. 電源コード及び接続部には負荷がかからない様ご注意下さい。
10. 修理が必要な場合は、ご購入頂きました販売店様へご連絡を頂き、修理依頼をお願いします。  
保証書が無い場合は保証が適応されませんので、大切に保管して下さい。



このマークは、製品の筐体の内部に電圧が流れており、感電する危険があることを示しています。



このマークは、付属の取扱説明書に大切な安全上の注意や操作方法が記載されていることを示しています。

## 基本性能

- ・ 4モノラル入力チャンネル
- ・ 最大出力100Wのパワーアンプ内蔵
- ・ 録音・再生用USB端子を装備
- ・ クラスD回路内蔵アンプ
- ・ デジタルディレイ機能内蔵
- ・ 2バンドEQ搭載
- ・ レコード出力
- ・ レベル調整可能なRCAテープ入力

## ご使用頂く前の準備

1. 電源をオンにする前に、マスター出力を最小値に設定して下さい。
2. ケーブルの接続前と取り外し前には、必ず電源をオフにして下さい。
3. 通気の妨げになるため、背面パネル全体をふさがらないで下さい。

## コントロールと設定

### 1. LOWコントロール

低音域 (80Hz)を±15dBの範囲でブースト/カットすることが出来ます。

### 2. HIGHコントロール

高域域 (12kHz)を±15dBの範囲でブースト/カットすることが出来ます。

### 3. LEVELコントロール

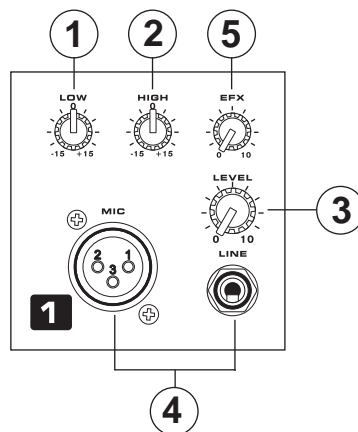
該当するチャンネルのレベルを調整します。

### 4. MIC/LINE入力

XLR及び1/4"フォン入力端子です。2つのコネクタを同時に使用することは出来ません。また、XLR端子にファンタム電源を必要とするコンデンサーマイクを直接入力することは出来ません。

### 5. EFXコントロール

内蔵デジタルディレイエフェクトに送られる信号レベルを調整します。



## マスターセクション

### 6. デジタルディレイ (EFX)

入力チャンネル信号にかかる内蔵デジタルディレイの調整が可能です。

TIME - ディレイタイムを調整します。

REPEAT - ディレイのリピート回数を調整出来ます。

### 7. POWERインジケータ

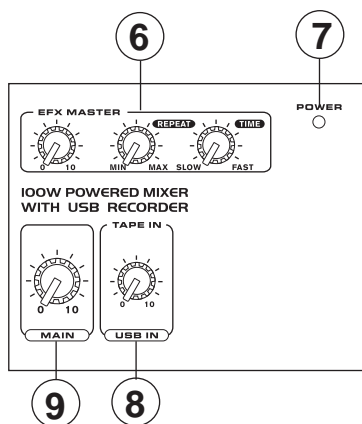
電源スイッチがオンになると、インジケータが点灯します。

### 8. テープ入力/USB入力コントロール (TAPE IN/USB IN)

テープ入力、USB入力からメインバスに送られる信号のレベルを調整します。RCAテープ入力から受信した信号の入力レベルもコントロールします。

### 9. MAINコントロール

スピーカーに出力されるメインバスの信号レベルを調整します。



## USBレコーダー

USBレコーダー端子に繋がれた機器に、各入力チャンネルの信号をダイレクトに送信します。録音自体はステレオで処理されますが、本機器の内部回路により、繋がれた機器へ送信する際にデュアルモノラル信号に変換されます。また、WAVやMP3を最大320kbitのビットレートで再生も可能です。

### 10. ディスプレイ

再生中のトラック番号が表示されます。また、ディスプレイの左側に、PLAY (再生)、PAUSE (一時停止)、RECORD (録音) インジケータがあり、再生モード中は現在再生中のファイル形式 (WAVまたはMP3) がディスプレイに表示されます。

### 11. USB RECORDER

USBメモリを接続します。フラッシュドライブを接続すると、ドライブに保存されているファイルが読み込まれ、最初のトラックが一時停止状態でディスプレイに表示されます。USBメモリはFAT-32形式に対応しています。

### 12.RECORDボタン

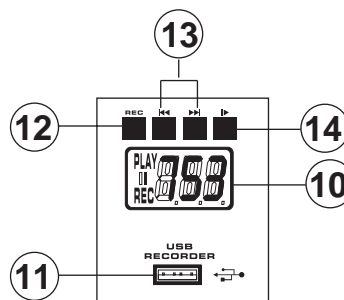
このボタンを押すと録音モードになります。録音モードになると、録音可能な次のトラック番号がディスプレイに表示され、一時停止状態になります。この状態でプレイ/ポーズボタンを押すと録音が始まります。

### 13. 戻る/次へボタン

これらのボタンを押すと、トラックが前後に1つずつスキップします。なお、これらのボタンを長押ししても、トラック内の早送り/巻き戻しは出来ません。

### 14. 再生/一時停止ボタン

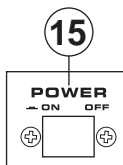
このボタンを押すと、現在表示されているトラックの再生/録音開始または停止します。一時停止後にトラックの再生を開始すると、一時停止していたポイントから再生が再開されます (録音モードと再生モードの両方で共通)。録音モードでは、このボタンを押したままにすると、録音が確定されます。再生モードでは、このボタンを押したままにすると、USBメモリの最初のトラックに再生が戻ります。



## リアパネル

### 15. POWERスイッチ

本機器の電源をオン・オフします。



### 16. SPEAKERS出力ジャック

このソケットにスピーカーを接続します。スピーカーを同時に2つ使用する場合は、8~16Ωのスピーカーを使用して下さい。スピーカーを1つだけ使用する場合は、4~8Ωのスピーカーを使用して下さい。合計の最低負荷は4Ωです。合計負荷が4Ω未満の場合、本機器が損傷する可能性があります。

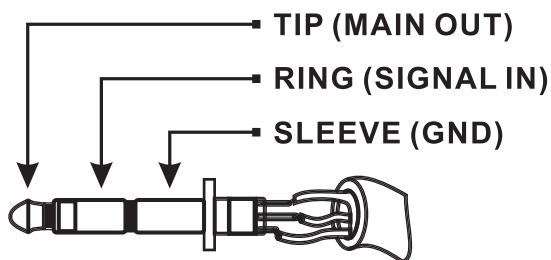
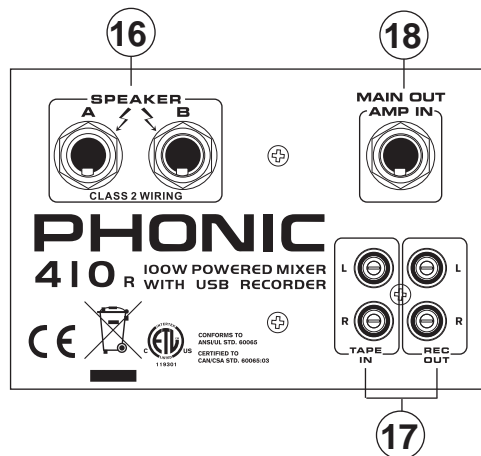
### 17. TAPE IN, REC OUT

TAPE INには、MP3プレーヤーやCDなどの楽曲をメイン出力に追加出来ます。REC OUTは出力信号を録音機器や家庭用オーディオ機器に送ることができます。定格の出力レベルおよびインピーダンスは、-10dBV/600Ωです。

### 18. MAIN OUT/AMP IN

外部のプロセッサーまたはパワーアンプへのメイン出力の信号送信が可能です。このインサートは通常はバイパスされます。ジャックが差し込まれると、信号経路は遮断されます。

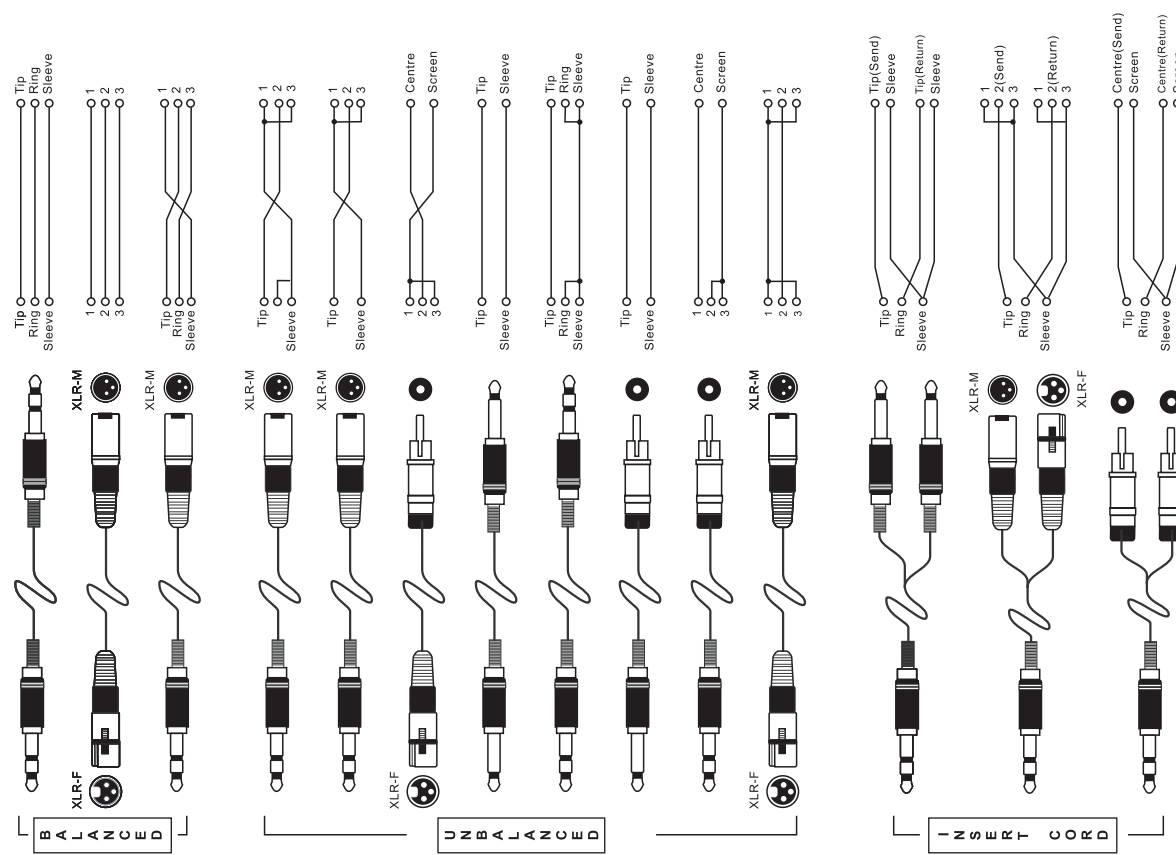
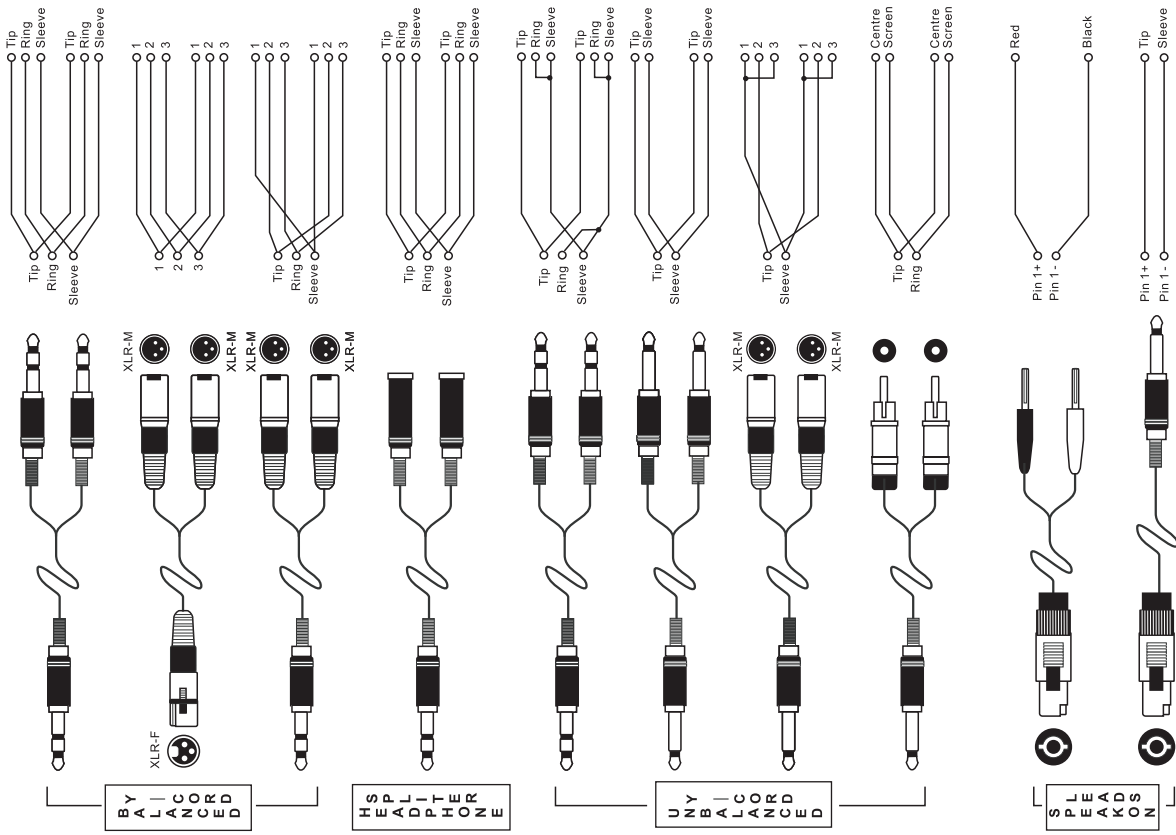
メイン出力信号はプラグのチップ(TIP)部分に、外部信号はリング(RING)部分にリターンされます。下図に示すように、個別のセンドおよびリターンジャックに機器を接続するには、インサーションケーブル(別売り)が必要です。



## 仕様

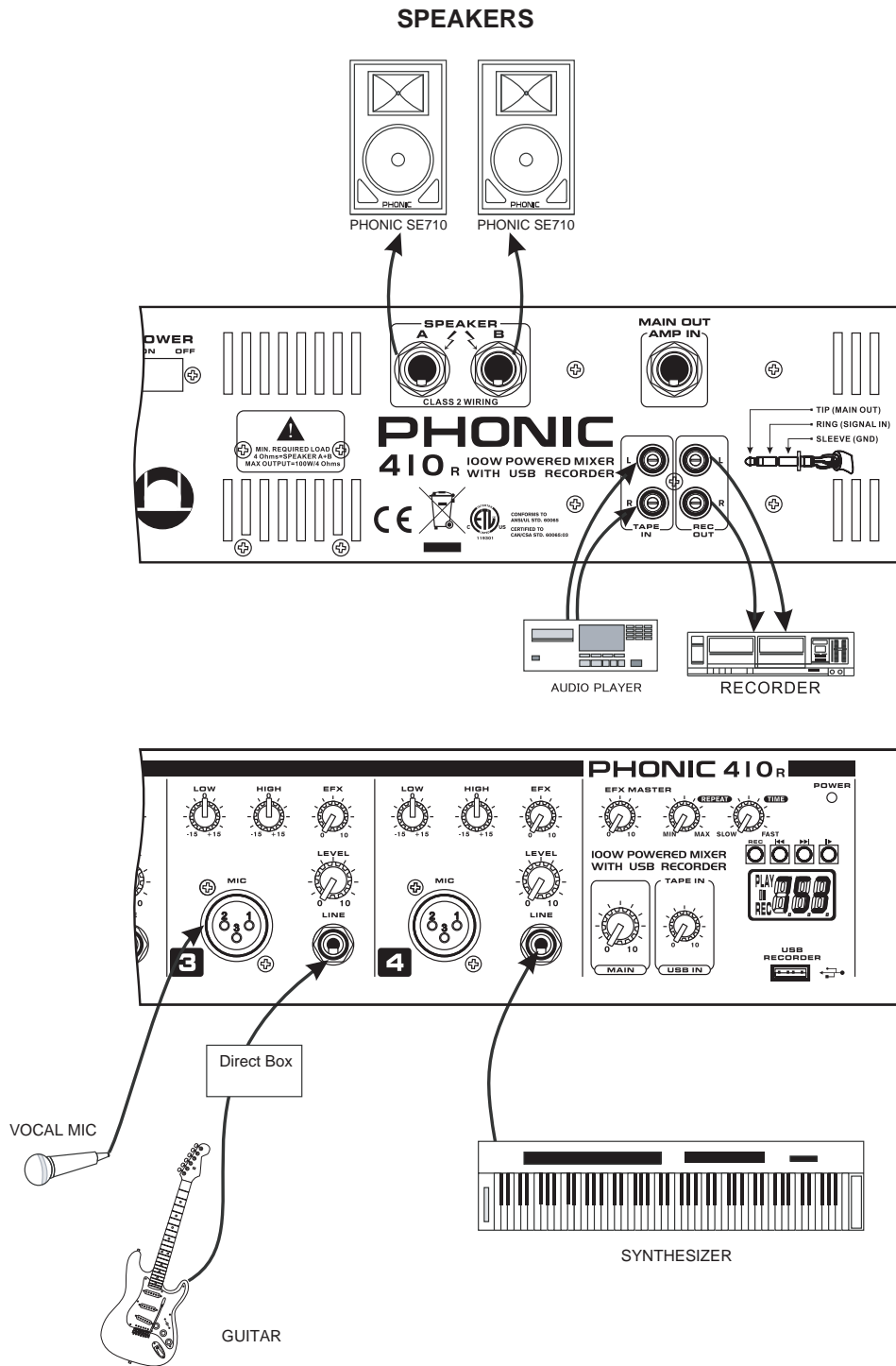
パワーアンプ出力チャンネル数	1
チャンネル別8Ω出力	65
チャンネル別4Ω出力	100
バランスモノラル マイク/ラインチャンネル	4
メイン出力	アンバランスタイプ、TRS
チャンネルストリップ	4
ボリュームコントロール	ロータリー
メインレベルコントロール	ロータリー
内蔵デジタルエフェクト	デジタルディレイ (2ms~150ms)
<b>ノイズ (20Hz~20KHz帯域幅、マスター出力へのライン入力)</b>	
マスター出力、全フェーダーダウン	-86dBu
パワーアンプ出力、全フェーダーダウン	-55dBu
<b>クロストーク (1kHz@0dBu、帯域幅20Hz~20kHz、チャンネル入力・メインL/R出力間)</b>	
測定チャンネルミュート、他のチャンネル@ユニティ	<-63dB
<b>適正インピーダンス負荷接続時の周波数応答</b>	
20Hz~20KHz、ラインレベルo/p @ +4dBu (600Ω)	+1/-3dB
20Hz~20KHz、パワーアンプo/p @ 1ワット (8Ω)	+1/-3dB
<b>THD</b>	
パワーアンプ出力、20Hz~20KHz	@100 W、4Ω <0.2%
<b>感度@ミキサー出力+4dBu</b>	
マイク/ライン	-50dBu/-35dBu
マイクプリアンプE.I.N. (150Ω終端、最大ゲイン)	<-122dBm
<b>USBレコーダー/プレーヤー</b>	
録音フォーマット	wav
再生時最大ビットレート	320 kbit/second
再生フォーマット	wav, mp3
チャンネルイコライザー	2バンド、±15 dB
LOW EQ	80 Hz
HIGH EQ	12 kHz
サイズ (W × H × D)	440 x 145 x 215 mm
重量	7.2 kg

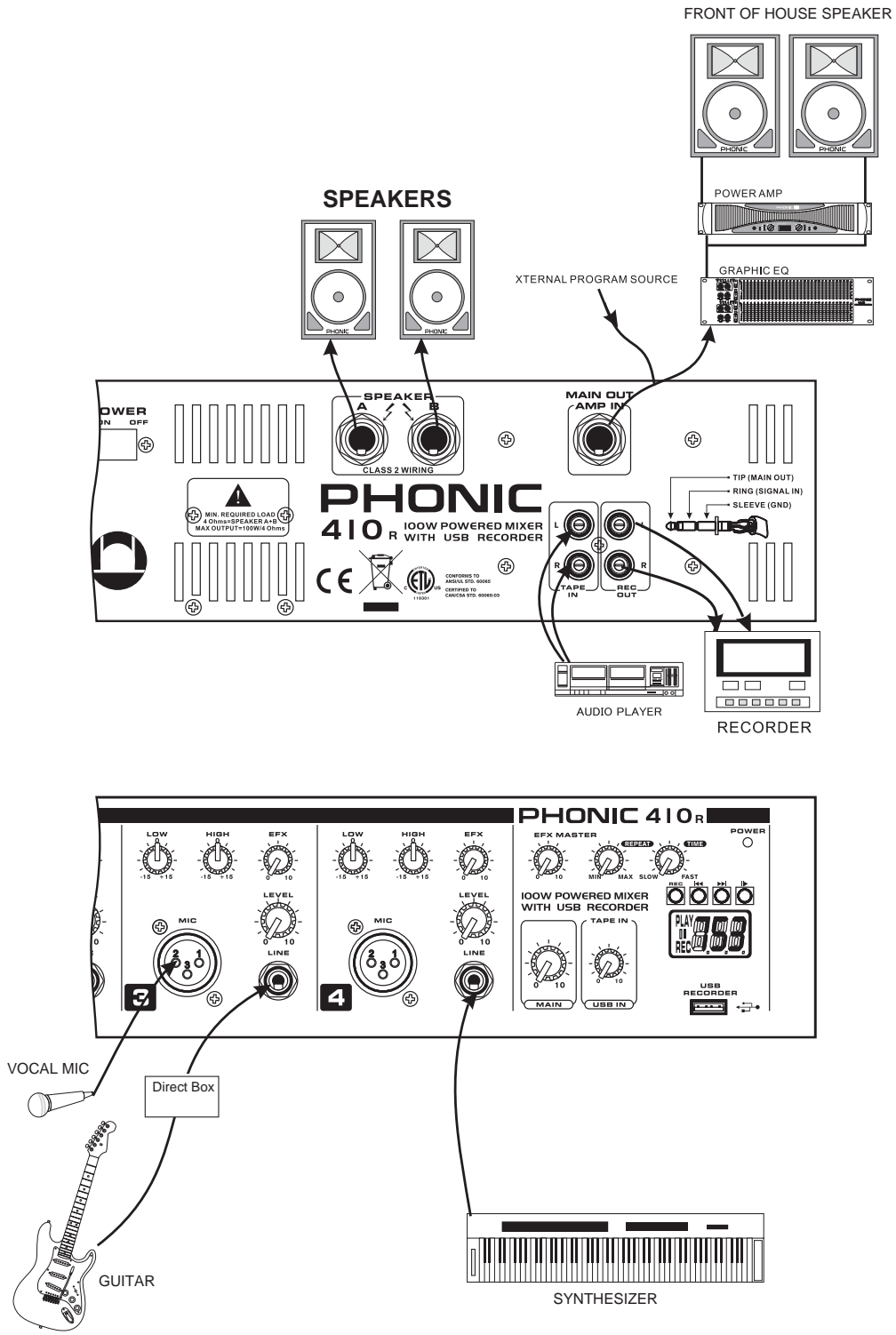
ケーブルタイプ



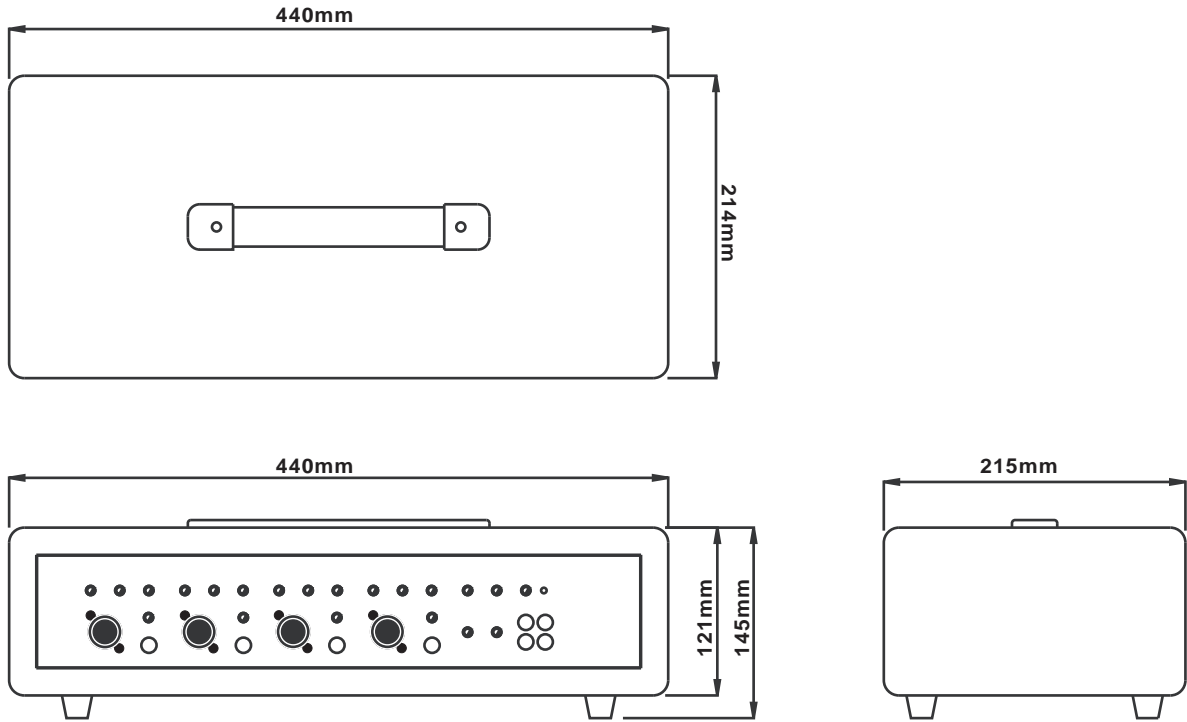


接続例

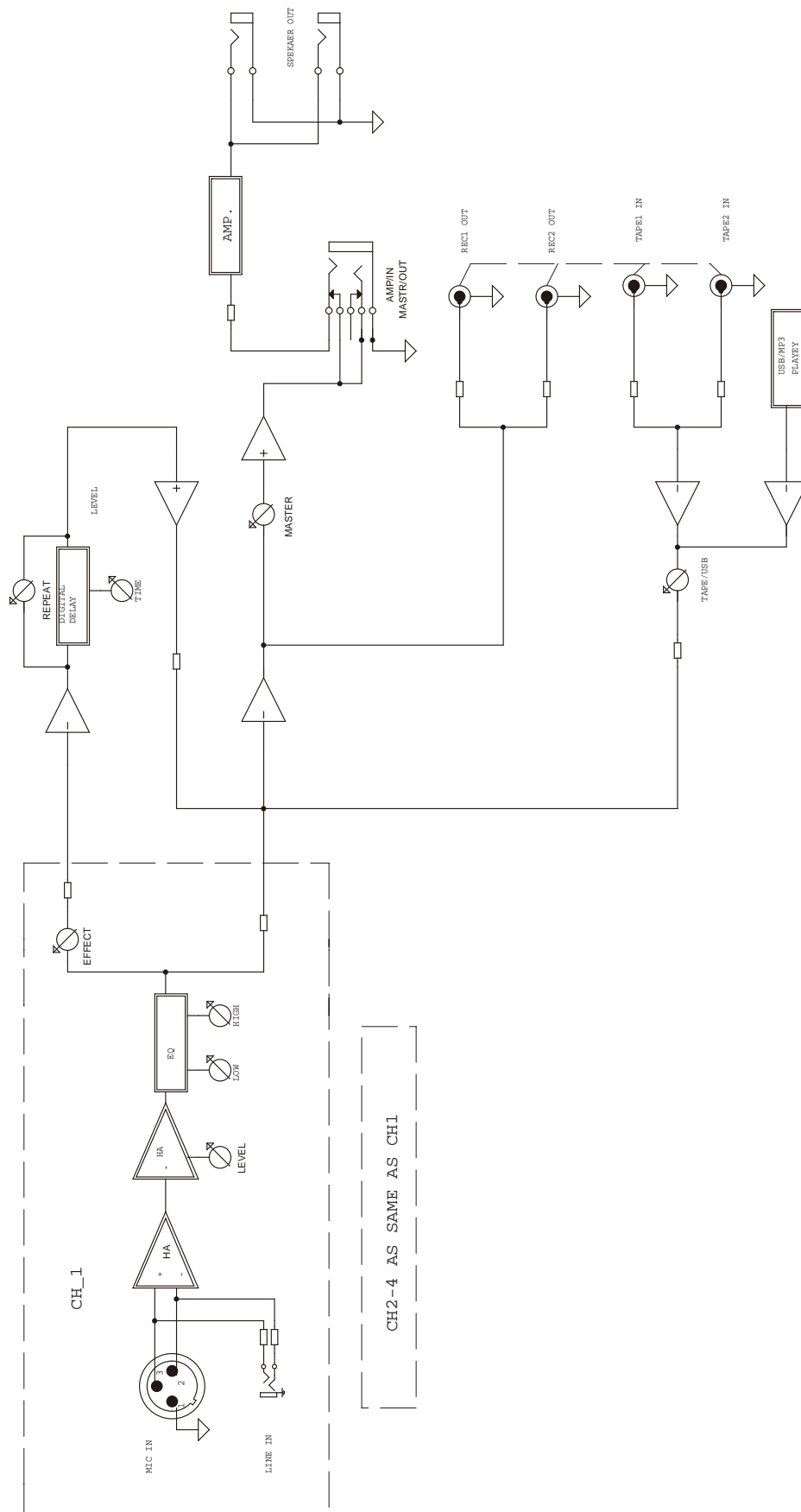


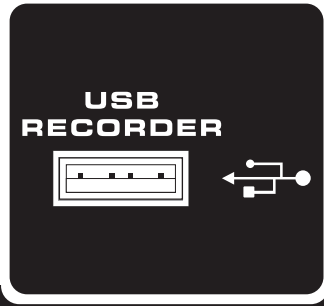


寸法



ダイアグラム





# “R”

## - Recording

### レコーディング機能

- 1.USBドライブを接続している状態で、RECボタンを押すと録音モードになります。
  - 2.WAV（録音形式）がディスプレイに表示され、次の利用可能なトラックの番号が表示されます。たとえば、12WAV方式ファイルがUSBに入っていると、「11/REC 013」と表示されます。
  - 3.録音モードがスタンバイ・一時停止の状態になります。Play/Pauseボタンを押すと、録音が始まります。
  - 4.Play/Pauseボタンを押すと録音が一時的に停止します。もう一度Play/Pauseを押すと、一時停止したところから、再び録音が始まります。
  - 5.録音中にRECボタンを押すと、それまでの音源は1つのトラックに保存されます。  
(例：トラック13を録音している最中に、RECボタンを押すと、録音した音源はトラック13に保存され、トラック14に続きます)
  - 6.録音を終了するには、Play/Pauseボタンを押してください。
  - 7.録音を終了すると、先頭のMP3トラックが選択され、再生モードになります。Backボタンを一回押しと、先ほど録音したWAVになります。
- 注意：USBロータリーのコントロールで録音レベルを設定することはできません。録音レベルの設定は、各入力チャンネルのコントロールで行ってください。
- 安価なUSBメモリや大容量のUSBメモリをご使用された場合、録音データに音飛び現象が発生してしまう場合がございます。
- なるべく容量の小さいもの、高品質・高速記録が可能なUSBメモリをご使用されることを推奨いたします。

**PHONIC**  
WWW.PHONIC.COM



**PHONIC** 正規輸入代理店  
株式会社 キョーリツコーポレーション  
[www.kcmusic.jp/](http://www.kcmusic.jp/)